

識別番号・報告回数	B-07008101	第1報	関連報告番号		重篤	医学的確認	死亡日	機構処理欄
最新情報入手日	2007年07月09日	15日	第一報入手日	2001年02月22日	死に至るもの 生命を脅かすもの 入院又は入院期間の延長が 必要なもの	報告された死因 (死亡の場合)		新医薬品等の区分 該当なし
発現国(情報源)	日本 (日本)	身長 cm	過去の副作用歴	原疾患・合併症・ 既往歴	永続的又は顕著な障害・ 機能不全に陥るもの			
患者略名		体重 Kg		インフルエンザ 喘息	先天異常を来すもの			
性別	男性		曝露時の妊娠期間		◎ その他の医学的に重要な状態			
年齢	43歳							

医薬品情報

販売名	一般名	被疑薬	経路	剤型	投与量	投与期間	医薬品使用理由
リレンザ	ザナミビル水和物	S	吸入	INH	投与量/回 回数 10mg/2回 1日	投与期間 開始日 終了日 01/02/08 01/02/10	インフルエンザ

副作用/有害事象

重要性	副作用/有害事象名 (MedDRA-PT)	副作用/有害事象名 (MedDRA-LLT)	持続期間	発現日	転帰日	投与開始からの 時間間隔	最終投与からの 時間間隔	転帰
非・重	味覚異常 (味覚障害)	味覚障害		01/02/10	01/03/24			回

副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過

2001/02/08
夕方から38.4度の発熱と咽頭痛、節々の痛みがありFlu-01Aキットで陽性、インフルエンザと診断し、夕方からリレンザを吸入開始。
2001/02/10
ほぼ、無症状のとなり、同時に味覚の異常が出現し、服用を中止した(2/15の電話調査にて確認)。患者の印象では、味覚は必ずしも障害(鈍麻)ではなく、うまみの感覚は鈍麻であったが、甘味、辛味はほぼ正常、塩味と苦味は反って数倍鋭敏になり、嗅覚は投与前よりかなり鋭敏な状態がしぞくしているという(3/1現在)。小児のようななむしる感覚が研ぎ澄まされた状態にも思えたとのこと。
2001/02/16
味覚障害は、発現時よりは軽快中であったが持続していた為、ビタメジン(3カプセル/3x)投与開始。

2001/02/20
味覚異常はほぼ回復。
2001/03/01
嗅覚過敏は持続中。
2001/03/24
味覚異常は回復。

<追加情報>
睡眠時驚悸症、睡眠時遊行症などの睡眠障害の既往歴：不明
睡眠時驚悸症、睡眠時遊行症などの睡眠障害の家族歴：不明
異常行動の既往歴：不明
他剤での異常行動の副作用歴：不明
味覚異常の発現時刻と直前のリレンザ投与時刻：不明。